

開催報告

分科会

平成18年度第1回クリティカルパス実践セミナーin熊本
— クリティカルパスの概念・必要性の理解と作成活用能力の向上 —

(財) 竹田総合病院精神科 小園江浩一



会場風景

私は同僚の看護師2人と10月18～19日の2日間国立病院機構熊本医療センターで行われた第22回クリティカルパス実践セミナーin熊本に参加しました。北は北海道、南は沖縄から合計で85名が参加し、熱気こもった検討が行われました。

初日は国立病院機構熊本医療センターの野村先生と清川先生の講義を拝聴し、その夜は院内のクリティカルパス研究会に参加、翌日にはグループワークとなり実際にクリティカルパスを作成するというスケジュールでした。私の専門は精神科なので、事務局のご配慮もあり、せん妄のショートクリティカルパスを作成しました。実は、当院ではカルテが電子化されて今までのクリティカルパスが使用できなくなり、さらに仙台の医療マネジメント学会学術総会で当院採用の電子カルテシステムでクリティカルパスは使えないという発表を聞いていたので、今後どうしようかと考えあぐねて参加したのですが、幸い国立病院機構熊本医療センターは同じシステムを採用していて、そこでクリティカルパスを実際に作成することができ、再びクリティカルパスをやる勇気が出てきました。旨い馬刺しとともに楽しい出張となりました。

事務局の皆様および一緒に検討してくれた仲間へ深く感謝いたします。

開催報告

分科会

第11回静岡県地方会

当番世話人：浜松医科大学医学部附属病院 小林利彦



会場風景

第11回静岡県地方会が8月5日(土曜日)にクリエート浜松を会場として開催されました。静岡県内から212人の参加者を迎えました。クリティカルパスの展示発表の後、TUR-BTパス、大腸手術パス、大腿骨頸部骨折パスについて施設間の

クリティカルパス内容の比較検討(ミニシンポジウム)が行われました。このミニシンポジウムの目的は、前回に引き続き静岡県内クリティカルパスの標準化をめざしたのですが、未だ施設間のクリティカルパス内容には種々の相違があることが明らかとなりました。その後、一般口演として10題の演題が発表されました。内容的にはクリティカルパスや医療事故対策、電子カルテといった各種医療マネジメントに関連したものでした。最後に、岐阜大学附属病

院医療情報部の白鳥義宗先生に「問題解決の手助けを目指した電子カルテとクリティカルパス」の内容で特別講演をお願いしました。静岡県内では、これから電子カルテを導入または更新する施設が少なく、会場からは数多くの具体的質問が出ていました。

全体的印象として、この静岡県地方会は参加施設数も増加し県内での認識も高まっていると思われます。また、内容的にはクリティカルパスだけでなく、電子カルテ、DPC、地域連携クリティカルパスといった、現場でのホットな話題が取り上げられる傾向にあり、参加者にとって有意義な会になりつつあります。

第3回鳥取地方会

会長：鳥取大学医学部附属病院院長 石部裕一



会場風景

平成18年9月2日(土)に第3回を迎えた日本医療マネジメント学会鳥取地方会が鳥取大学医学部附属病院石部裕一院長を会長として米子コンベンションセンターで開催されました。テーマは「良質で安全な医療の実践」で、県

内外より298名が参加して、シンポジウム「パス導入効果を検証する」5題、パネルディスカッション「チーム医療を機能させるために」5題、一般演題32題、パス展示28題が行われ、熱心な討論で大いに盛り上がりしました。

また、岐阜大学医学部附属病院 白鳥義宗先生、済生会熊本病院 道端由美子先生より2題の特別講演を拝聴し、大変感銘を受け、明日からの医療現場ですぐに活かせるものと印象深く感じました。回を重ねる度に本会も成熟しつつあり、演題内容も全国に向けて発信していくもの、施設間の意見交換として重要なもの、教育的配慮のあるものとさまざま、地方会ならではの貴重な親睦の場としても活用されてきています。第4回は平成19年9月に鳥取赤十字病院の担当で開催される予定です。本地方会の有意義な討論が鳥取県の医療水準の向上に役立つものと確信しています。今後とも何卒ご指導を宜しくお願い申し上げます。

(文責 鳥取大学医学部附属病院 中村廣繁)

第1回宮崎地方会

地方会会長 第1回世話人：県立宮崎病院院長 豊田清一



会場風景

宮崎県におきましては、以前より宮崎地方会の立ち上げの企画がなされておりましたが、多くの方々のご賛同とご協力により、平成18年9月16日(土)に第1回日本医療マネジメント学会宮崎地方会総会および学術集会を県立宮崎病院が担

当して開催しました。

一般口演演題15題、クリティカルパス・ポスターセッション10題の発表があり、県内の医療従事者241名に参加していただき、活発な質疑応答が交わされ、医療マネジメントへの関心の深さを感じました。基調講演では、宮崎久義理事長に「病院運営15年、クリティカルパス10年—その歩みを振り返って今後を考える」、特別講演では、東京医療保健大学の坂本すが教授に「医療安全に関して—成